

地域のビジネスイノベーションハブ拠点

T-Biz のご紹介



2022年7月

独立行政法人中小企業基盤整備機構
東北本部

1. 中小機構の概要

名称：独立行政法人中小企業基盤整備機構
※経済産業省所管の中小企業政策の実施機関

設立：平成16年7月
(中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金の三法人が統合)

目的：中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期にいたるまで、企業の成長ステージに合わせた多様な支援施策を実施

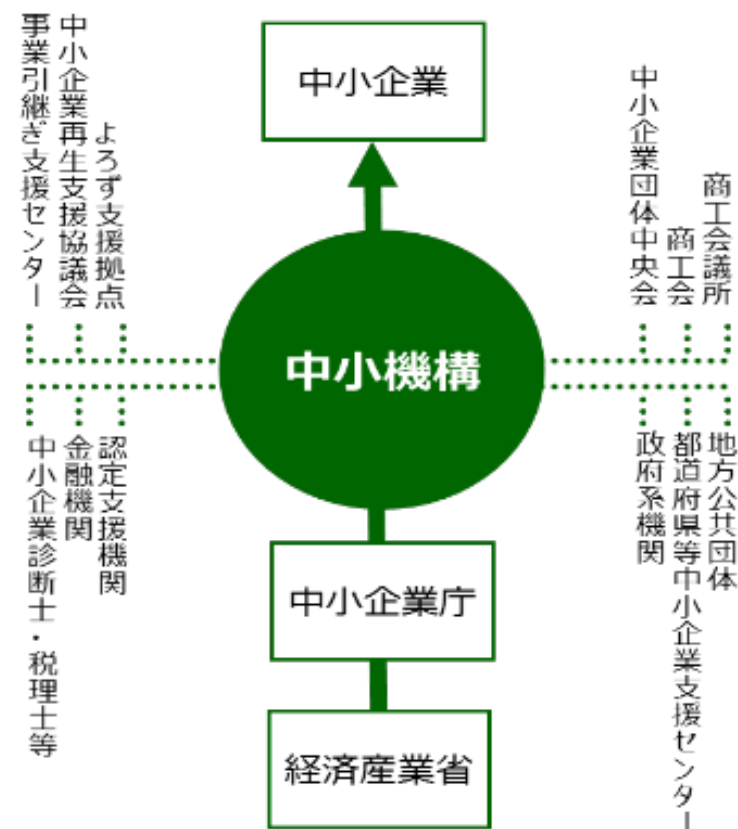
拠点：本部、地域本部等（10ヶ所）、中小企業大学校（9校）

東北本部：東北6県を対象に事業を実施。
本部事務所・仙台校（人材育成施設）・
T-Biz（インキュベーション施設）



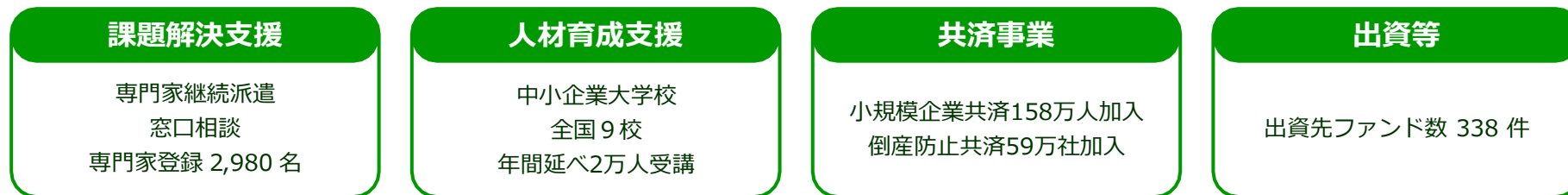
人員：職員約780名
外部専門家約2,980人。
(例：中小企業診断士、弁護士、公認会計士、弁理士、大手企業OBなど)

中小機構と支援機関ネットワーク

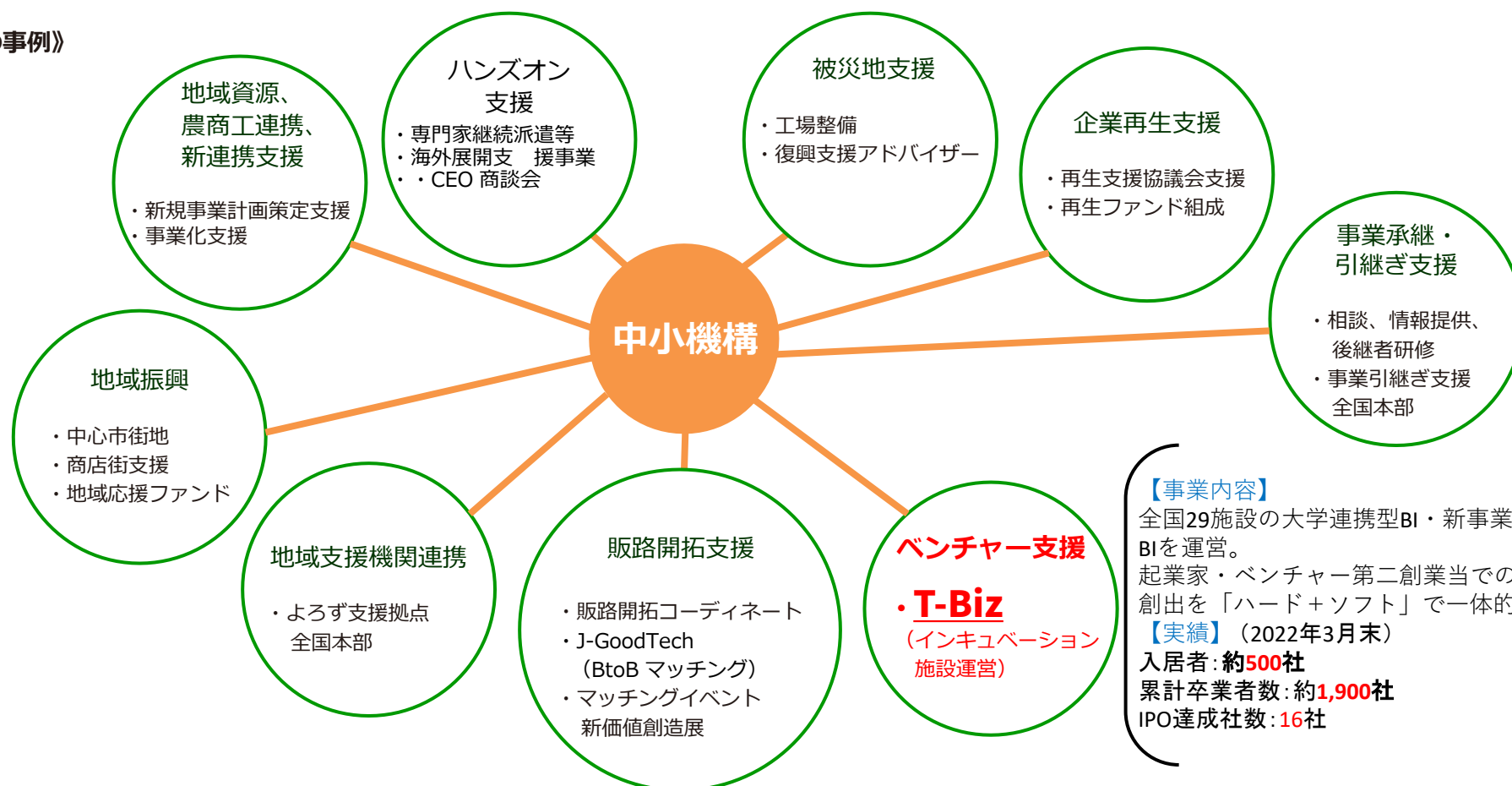


2. 中小機構の事業紹介

《基本支援機能》



《支援の事例》



【事業内容】

全国29施設の大学連携型BI・新事業創出型BIを運営。

起業家・ベンチャー第二創業当での新事業創出を「ハード＋ソフト」で一体的に支援。

【実績】(2022年3月末)

入居者: 約**500**社

累計卒業者数: 約**1,900**社

IPO達成社数: **16**社

3. 中小機構のインキュベーション事業

中小機構（中小企業基盤整備機構）のビジネスインキュベーション事業では 全国29拠点での支援を展開 ・入居企業数は、約500社以上（2022年6月末時点）

- ・北海道から九州地域まで存在する29拠点の中で相互に情報交換と情報提供を実施
- ・入居企業 並びに 卒業企業のビジネス相談・マッチングをタイムリーに実施

東北地域における大学発スタートアップ企業育成
ビジネスインキュベーターとしては 唯一の施設



4. 東北大学連携ビジネスインキュベータ(T-Biz)の事業支援

T-Bizにおける入居企業支援

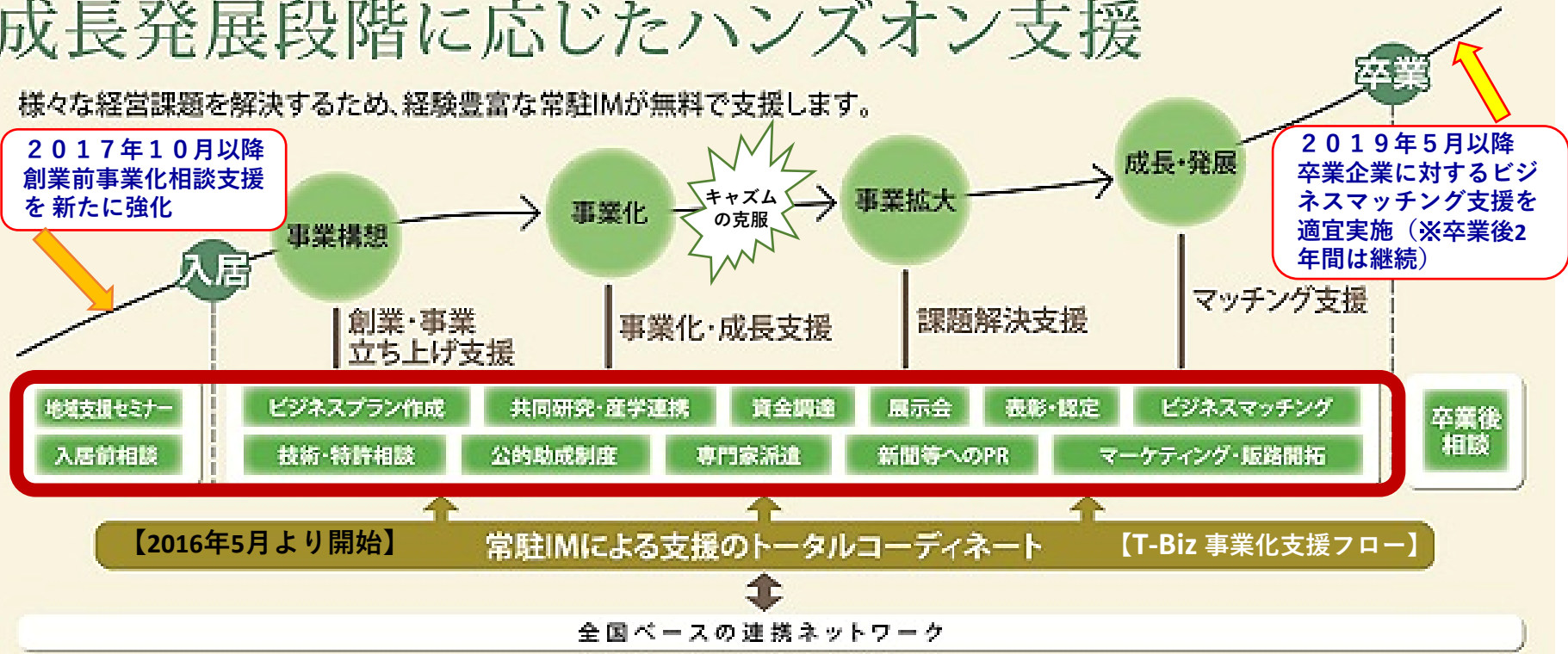
施設常駐のインキュベーション・マネージャーに（IM）による「伴走型支援」と中小機構が全国規模で提供する様々な支援を組み合わせることで入居企業を支援

成長発展段階に応じたハンズオン支援

様々な経営課題を解決するため、経験豊富な常駐IMが無料で支援します。

2017年10月以降
創業前事業化相談支援
を新たに強化

2019年5月以降
卒業企業に対するビジ
ネスマッチング支援を
適宜実施（※卒業後2
年間は継続）



ものづくり支援

中小企業の研究開発について計画作成や事業化に向けたアドバイスを行う制度です。



新価値創造展

展示会開催・事業化状況表彰

企業連携、新市場の開拓などを旨す
中小企業を支援する中小機構主催の展示会です。



J-GoodTech

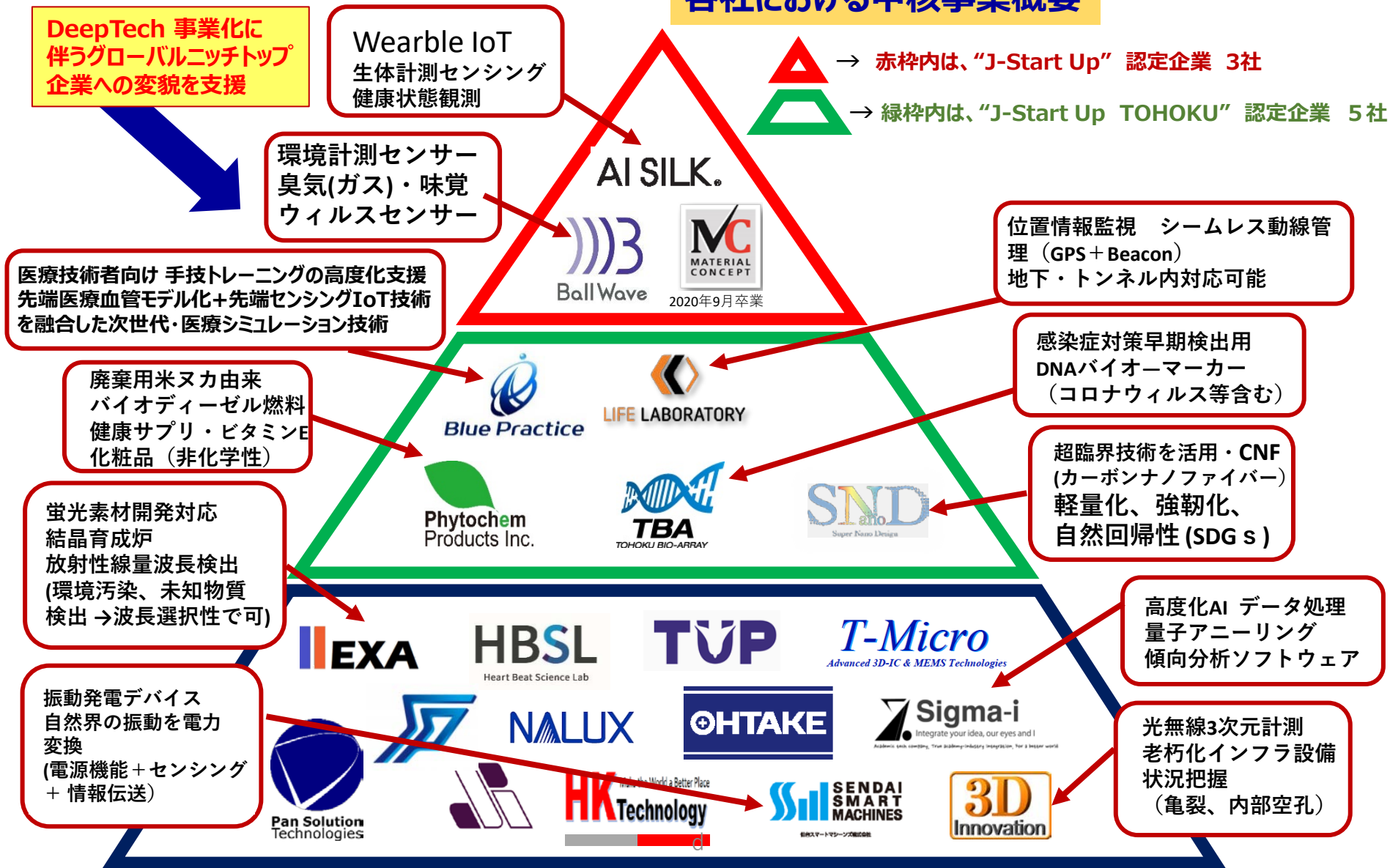
日本の中小企業の優れた技術や製品を集め
世界に発信するBtoBマッチングサイトです。

共催 国際展示商談会 “Bio Japan”

主催 ベンチャー起業家表彰 “Japan Venture Award”

5. T-Biz 入居企業事業化構成ピラミッド

各社における中核事業概要



6. 東北大学連携ビジネスインキュベータ (T-Biz)における支援実績

2022年6月末 現在

目的

T-Biz 東北大学連携
ビジネス
インキュベータ

東北大学などが有する技術シーズ・知見を活用した

- ・ **大学発ベンチャーの起業**
- ・ **中小企業等の新事業創出**

開設から14年間
のべ

78

の企業（63社）・東北大学研究機関（15機関）が入居

【参考】中小機構インキュベーション施設（全国に29拠点）では、約1900社（累計）

施設卒業企業の約

83

%が事業化に成功

現在

24

のベンチャー企業が入居中